

2007-8 NSIII 「自然の化学的基礎」 Final Exam. 2/27/2008

選択課題：1から4の課題の中から1つ選び、レポートせよ。

(<http://subsite.icu.ac.jp/people/yoshino/NSIIIassignment7.html>)

選択課題 1：

「水は無味、無臭、無色透明で、物理・化学的に特に注目すべき特徴もない。

しかも、この地球上のどこにでもある最もありふれた物質だ。」

と考えている高校生がいるとしよう。もしも彼らを前にして水について語るとしたら、あなたならば何を話すか？

話の内容にふさわしい主題をあげ、その内容を述べなさい。

・形式は自由。水に関係していれば、自然科学的な主題／内容でなくてもよい。

選択課題 2：

水クイズ(別紙)<http://subsite.icu.ac.jp/people/yoshino/waterquiz.html>

の区分1～4から各2問(合計8問)について解答・解説し、さらに、水クイズ問題を2つ創作しなさい。

選択課題 3

下に示すのはTV番組を録画したDVDリストである。その中から1つ選んで内容を概説し、そこで提起されている「21世紀の水問題＝地球環境問題」に対してあなたが感じたこと、考えたこと、人間が今から行動すべきことについて述べなさい。

(DVD playerを持っている人に限ります／人数限定)

1. Water business “Blue water” (VTR)
2. 未来への提言スペシャル その1&2 毛利さんとハンセン氏との対談
3. 旧芝川の再生 1-3 (宇宙船地球号)
4. 異常気象ミステリー ——今地球は病んでいる ——
5. 世界水ビジョン 「世界の水問題」
6. 気候大異変 No.1 & 2
7. 南米パンタナール大湿原 + 世界里山紀行ポーランド
8. 地球危機2008 その1～2
9. 地球危機2008 その3～4
10. 地球は訴える 地球温暖化対策5つの提言

選択課題 4 :

水、エネルギー、食糧：この3つは、人間が生きるため(survival)に取り組んで来た問題であり、これからの人類、地球環境にとって避けて通ることのできない重大な問題である。

そこで、これら3つについて

1. 自然界における多様なあり方／かたち
2. 人間はそれらをどのように獲得／利用して来たか
3. これらが21世紀における重大な課題といわれる理由について概説せよ。

【注 意】

● 試験の答案を事前にまとめ、当日(2/27： 1P)試験時間内に提出することを基本とします。(当日、教室で書いてもよい)。 但し、2/24 から 2/27 に N201 理学科事務室前のボックス(No.7)に提出してもよい (その場合には、吉野輝雄までメールで必ず知らせること)。

・ワープロ原稿が望ましい。

・長さは問わないが(質と独自性が問題、自然科学的内容である必要はない)、A4用紙 2-3 枚を標準とする。

・答案(レポート)を e-mail の添付書類でも提出し、公開 OK (記名あるいは匿名で)と記してあれば、後に「水の広場」Web-page にアップロードします。積極的参与を期待しています。

● 試験の答案とは別に、「クラスについての総合コメント」(A4 白紙／クラスで配布する)を同時に提出してもらいます(記名)。

クラスについてのコメント(新たに学び得たこと、クラスへの意見／要望・批判・改善提案、決意、疑問・・・)、

どんなことでも5行以上書いて提出して下さい。内容如何に関わらず5点あげます。

● また、FD 主任からの依頼により、「授業効果調査用紙」(TES)に記入して提出して頂きます(無記名)。2/27 に提出または、係の人に渡すこと。

●成績の付け方

- ・ 課題Ⅰ 「川と人間生活」： 20%
 - ・ 課題Ⅱ (メディア情報から水と人間の問題を考える)：20%
 - ・ 最終試験： 20%
 - ・ VTR (「たけしの万物創世記」、「九寨溝」、「ワトソン『水の惑星』」、「琵琶湖の里山」
についてのコメント)： 16%
 - ・ 野川観察レポート： 10%
 - ・ クラスへの積極的関与(Active participation * コメント用紙の提出数>70%,
レポート公開などの要素の合計) 10%
 - ・ クラスについての総合コメント： 5%
- (・ Option 課題「地球カレンダー」計算とコメント、その他、質の高いコメントなど著しい参加が認められる場合にはボーナス点を加える。但し、ボーナスの最高点は10%)

合計：101+(10%)

吉野輝雄 yoshino@icu.ac.jp